

# 令和4年度 小林市立南小学校 自己評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

N O . 1

学校経営 ビジョン	○ 南小学校の伝統を大切に、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。 令和4年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』
--------------	---

〈知 育〉 ○ 自ら見通しをもって考え、主体的に学び合う児童の育成

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組状況	自己評価		結果の考察・分析 及び改善策等
				取組別	総合	
知 育	1 授業改善による学 力向上 「授業プロセス」 「ICT」 「学習環境」	○ 学びたい度70 %以上 ○ タブレットP C の積極・有効活用	○ 三校合同研修会で研修を深め、作成した「授 業プロセス表」や「効果的なICTの活用事例」 などを授業に生かすことで、学習効果を上げ、 理解を深めさせるための授業改善を行っている。 ○ 各教科の授業においてICT機器の活用を積 極的に進め、低学年児童をはじめ、タブレット 操作のスキルが向上している。	3.05	3.01	・ 三校合同研修会を通 して研修を深めたことで、 主体的に考え、話し合い を通して課題解決をする 児童が増えてきた。 ・ ICTの積極的な活用 がみられた
	2 研究の公開と検証	○ 「思考力、表現 力、判断力」の向上 ○ 三校合同研究公開	○ 校内研修において、「生きる力」の基礎とな る思考力・判断力・表現力の育成の推進を図り、 共通理解、共通実践を行い、全員研究授業を実 施することを通して、成果の検証を行っている。 ○ 11月2日に三校合同研究公開を実施し、こ れまでの研究成果を市外、市内の先生方へ発表 することができた。	3.11		・ 研究を通して、児童に 力がついてきたように感 じている。 ・ 三校合同研究公開を通 して、研究の成果を他の 学校にも周知することが できた。
	3 家庭学習・読書活 動の充実 「家庭と連携した読書」 「読み聞かせ」 「新聞活用」	○ やる気の出る家 庭学習の工夫 ○ 家庭と一緒に進 める読書の習慣化	○ 三校合同で「家庭学習の手引き」を作成し、 各学年に応じた家庭学習の仕方を提示するとと もに、工夫した家庭学習に取り組ませている。 また、「家庭学習振り返り週間」や「ノート展」 を計画的に実施することで家庭学習の充実を図 っている。 ○ 「家庭読書週間」を計画的に設定し、「家庭 読書カード」を活用して読書の充実と習慣化を 図っている。 ○ 読み聞かせボランティアの方と連携し、読み 聞かせ活動も定期的に行っている。	2.65		・ 学力向上部の計画的な 取組により保護者を啓発 することができた。 ・ 新聞活用については、 授業等で活用する手立て が必要である。 ・ 家庭学習については、 個人差が大きく家庭との 連携も必要である。
	4 特別支援教育の充実	○ 妥当性と見通し のある指導・支援 の工夫	○ 月に1回、教育支援教育委員会を開催し、困 り感のある児童の支援の仕方について確認をと りながら組織的な対応を行っている。また、保 護者からの相談にも共感的に対応し、今後の見 通しなど支援体制について検討している。	3.21		・ 配慮が必要な児童につ いては、特別支援教育支 援員の先生方とも連携し て、情報共有を行うこと ができた。 ・ 学級に在籍している、 配慮が必要な児童への対 応を十分に行うことには、 職員数が限られた中で、 限界がある。

# 令和4年度 小林市立南小学校 自己評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

N O . 2

学校経営  
ビジョン

○ 南小学校の伝統を大切にし、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。  
令和4年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』

〈徳 育〉

○ 思いやりの心を持ち、互いに認め合い、仲良くできる児童の育成

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組状況	自己評価		結果の考察・分析 及び改善策等
				取組別	総合	
徳 育	1 よりよい学校づくりのための主体的な活動	○ 環境美化活動の充実（清掃、整理整頓、花植等） ○ 係、委員会、ボランティア活動の充実	○ 学級別清掃や縦割り清掃を計画的に行うことで、自分たちの学級を責任をもってきれいにすることや高学年がリーダーシップをもって学校をきれいにする意識を高められるようにしている。無言清掃については適宜その場指導や放送等で呼びかけている。 ○ 学級活動での係活動の活性化や各委員会による主体的な取組、朝のボランティア活動等により、自分たちの学校をよりよくしていくための活動の推進を図っている。	3.00	2.89	・ 担当職員を中心に環境美化活動の啓発を行い、縦割り班の清掃活動の充実や、無言清掃の徹底を図ることができた。 ・ 各委員会活動であいさつ運動や人権週間、給食感謝週間の取組など主体的な活動を展開することができた。
	2 基本的生活習慣の重点的育成	○ 「返事」「あいさつ」「整理整頓」「情報モラル」の徹底指導	○ 各学級において「みなみっ子の日」を使って学校のきまりを確認し、落ち着いた学校生活が出来るように指導している。 ○ 返事・あいさつ・整理整頓については、全職員で常時指導を行うとともに、できている児童については、賞賛し、継続できるようにしている。 ○ 情報モラル教育については、全学年で実施した。また、6年生と保護者を対象に講師を招き、参観日で学習を行った。	2.26		・ 「返事」「あいさつ」「整理整頓」については、個人差がみられるので、今後も継続的に指導を行っていく必要がある。 ・ 「情報モラル」については、全学級での指導や外部講師を招いての指導を行ったが、南小の課題の1つである。
	3 問題行動、いじめ、不登校への対応	○ 問題行動への即時対応 ○ 児童の人間関係の継続的な見守り ○ 不登校傾向児童に寄り添う対応	○ 毎月アンケートを実施し、問題行動の早期発見、早期解決に努め、「いじめ不登校対策会議」を開催し、全職員で共通理解を図っている。 ○ hyper Q-Uテストの実施を通して、学級の実態を把握し、望ましい学級集団の形成に努めている。 ○ 連絡のない欠席児童へ細やかに連絡をとり、保護者にも寄り添う姿勢で対応している。	3.26		・ 問題行動については、共通理解を図り、全職員で共通指導を行うことができた。 ・ 不登校児童については、保護者とも連携をとりながら、状況に応じた対策を取ることができた。
	4 道徳教育、人権教育の充実	○ 望ましい人間関係と言語環境づくり ○ 道徳科教育の充実	○ 「西諸人権の日」に合わせ、7月の参観日では人権に関する学習の授業参観を実施した。12月には人権週間を設定し、人権教室や人権研修を実施する。	3.05		・ 人権教室や人権研修を計画的に実施できたが、言葉づかいなど今後も継続的に指導をする必要がある。

# 令和4年度 小林市立南小学校 自己評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

NO. 3

学校経営 ビジョン	<p>○ 南小学校の伝統を大切にし、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。</p> <p>令和4年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』</p>
--------------	---

〈体 育〉 ○ 自分のめあてをもち、粘り強く体を鍛える児童の育成

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組状況	自己評価		結果の考察・分析 及び改善策等
				取組別	総合	
体 育	1 体力・運動能力の向上	<p>○ 楽しい運動の日常化と柔軟性と持久力の向上</p> <p>○ 自ら意識する立腰指導の徹底</p>	<p>○ 体力向上プランをもとに課題が見られる運動領域について、体育科授業を中心に指導を行っている。また、運動しやすい環境の充実を図っている。</p> <p>○ 体育科授業での運動量の確保、持久走月間、なわとび月間の実施、外遊びの奨励等を行い、運動の日常化を推進させ、体力の向上を図っている。</p> <p>○ 姿勢写真の各教室への掲示を行い、よい姿勢を意識させるとともに、始業、終業時の立腰指導の徹底を図っている。</p>	2.83	2.92	<p>・ 体力向上プランに基づく取組を行い、体力も徐々に向上しているが、柔軟性に課題がみられる。</p> <p>・ 立腰指導については、共通理解を図り、指導を行うことができたが、学年が上がるにつれ、立腰の意識が低くなって行く傾向がある。継続的な指導が必要である。</p>
	2 家庭と連携した健康教育の推進	<p>○ むし歯等の疾病治療の徹底 (虫歯治療率100%)</p> <p>○ フッ化物洗口の確実な実施</p> <p>○ 肥満その他の健康課題への対応</p>	<p>○ う歯については、フッ化物洗口や養護教諭による学級での歯みがき指導を行っている。治療勧告等も定期的に行い治療率の向上を目指している。</p>	2.61		<p>・ コロナ禍もあり、フッ化物洗口は継続的に実施することが出来なかった。</p> <p>・ むし歯の治療勧告も定期的に行ったが、治療率100%の達成は出来なかった。 1月末現在(60.6%)</p>
	3 感染症対策の徹底	<p>○ 丁寧な手洗い、正しいマスク着用、教室の喚起等の感染予防対策の徹底</p>	<p>○ 各学級での指導、保護者への文書やメール連絡、保健便りの配付、保健委員会によるポスター作成等により感染予防対策を進めている。</p> <p>○ 児童の手洗いや手指消毒、教室の常時換気等を習慣化させ、感染症対策の徹底を図っている。</p>	3.16		<p>・ 手洗い、マスクの着用、教室の換気など、共通理解を図り、感染予防対策を実施することができた。保護者へも感染拡大防止への協力を積極的に発信することができた。</p>
	4 危険を回避する意識の向上	<p>○ 実践的な防災、安全指導の充実</p>	<p>○ 各種避難訓練(風水害、地震、火事)の実施、みやざきシェイクアウトの参加等により、自分の命は自分で守る防災意識を高めている。</p> <p>○ 熱中症対策について、水分補給、遊ぶ際のマスクの取扱いや休憩の取り方の工夫等の指導を行うことで、自分の体を守る意識の向上を図っている。</p>	3.05		<p>・ 各種避難訓練などの防災、安全指導を計画的に実施することができた。廊下歩行等、身近な危険予知能力など意識を高めていく必要がある。</p>

# 令和4年度 小林市立南小学校 自己評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

NO. 4

学校経営  
ビジョン

○ 南小学校の伝統を大切にし、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。  
令和4年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』

〈食育〉

○ 望ましい食習慣や食生活の安全に心がけ、命を大切にする児童の育成

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組状況	自己評価		結果の考察・分析 及び改善策等
				取組別	総合	
食育	1 食に関する指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「生きた教材」としての学校給食の有効活用</li> <li>○ 「偏食」「残食」「マナー」等に関する指導の徹底</li> <li>○ 給食の準備、喫食、片付け等に関する児童の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6年児童が地域団体が企画した「食の世界旅行」に5年児童が「味覚の授業」に参加するなど食に関する意識を高める活動を推進している。</li> <li>○ 各学級で給食時間に「マナーカード」を提示し、食事前に確認することで、食事の望ましい態度やマナーを育成を図っている。</li> <li>○ 月毎に残菜調査を行い、残菜量を職員で確認し、残さず食べる意識を高めている。</li> <li>○ 毎日の給食指導において、マナーや偏食指導を行っている。</li> </ul>	3.16	3.29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域と連携した体験活動や学校栄養職員を招いた外国語の授業や給食参観など食に関する指導を実施することができた。</li> <li>・ 給食主任や養護教諭が学級担任と連携して給食時間のマナー指導を行うことができたが、偏食等今後も指導を継続していく必要がある。</li> </ul>
	2 自らの食を意識する活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達段階に応じた「弁当の日」の取組</li> <li>○ 食に関わる人に感謝する活動の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遠足時に「弁当の日」を設定し、発達段階に応じた取組をさせている。</li> <li>○ 本年度も、新型コロナウイルス感染予防対策で調理実習を実施していないため、夏季休業中に家庭科の課題として家庭で調理に関わる機会を設けるようにしている。</li> <li>○ 給食感謝集会を実施し、給食委員会の発表や全校児童がメッセージカードを作成するなど食に関わる人たちへ感謝の気持ちを伝える活動を実施した。</li> </ul>	2.86		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「弁当の日」も家庭の協力を得て、計画的に実施できた。</li> <li>・ 食に関わる人に感謝する活動については、給食委員会を中心に動画を作成し、調理員の方の働く様子を全校児童に分かりやすく紹介することができた。</li> </ul>
	3 給食指導と食事マナーの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 代替食等の確実な管理及び当該児童への適切な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食物アレルギー児童の対応について研修を計画的に行い、全職員で安全面に配慮して対応している。</li> </ul>	3.79		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養護教諭を中心に食物アレルギー研修を定期的実施したことにより、全職員で当該児童への適切な対応を行うことができた。</li> </ul>